

太田医師 地域医療研修

9月から10月末までの2ヶ月間、奄美中央病院で地域医療研修をさせていただきました。

奄美大島は学生時代、旅行・実習でお世話になった場所であり、奄美中央病院は鹿児島で研修をしたと思う原点になった病院であるため、特別な思いがありました。

午前は病棟対応、午後は訪問診察を経験させていただきました。急遽、古谷先生のピンチヒッターとして医療講演会の講師をするなど、良い思い出もできました。

担当患者様はALSの患者様で、徐々に日常生活動作ができなくなる中で、どこまで治療をするのか、先に起こりうる障害を予測し、社会資源を使いながら在宅生活をどうサポートしていくのかなど、難しい課題ばかりで考えさせられました。

南大島診療所では、坂口先生、秋山先生との3日間の研修でした。診療所見学の外に常森先生の歓迎会、加計呂麻でのバーベキューもでき有意義でした。

徳之島診療所では2週間の研修で、外来診療や訪問診察に加え、班会にも参加しました。班会では地元の方の話が島口で全く理解できなかったため、今後医療を行っていく上で、言葉の壁は大きいと不安も感じました。地域特有のハブ咬傷も経験でき、勉強になりました。

2ヶ月ではありましたが、在宅医療を本格的に学んだり、神経難病の勉強をしたり、スタッフの皆さんに支えていただく中で大変有意義な研修を行うことができました。ありがとうございました。そして、2010年4月からは奄美中央病院で勤務することになると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

